



平成 30 年度
こどもエコクラブ全国フェスティバル 2019
～輝け☆全国のアースレンジャー！～
実施報告書



はじめに

こどもエコクラブは、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育み、地域の環境活動の環を広げることを目的として1995年にスタートしました。事業開始から20年以上が経過し、大人になったかつての子どもたちが、こどもエコクラブの活動を通じて培った力を地域のまちづくりに発揮しはじめています。

2018年度は、全国で1,802クラブ、101,086人の幼児から高校生までの子どもたちが、それぞれの地域に根ざした環境活動を行い、2019年3月に1年間の活動の締めくくりとして、こどもエコクラブ全国フェスティバルを開催しました。参加した子どもたちは、活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとに日々の活動などを発表して交流を深めるとともに、お互いを称えるオリジナルの表彰状を作って交換し、今後も地域での活動を続けていくことを誓い合いました。また、企業・団体展示コーナーを見学して企業・団体の環境への取り組みについて楽しく学び、考える機会を持ちました。

また、こどもエコクラブのOB・OGからなるAll Japan Youth Eco-clubのメンバーをはじめ、現登録クラブの高校生メンバーや様々な大学の学生たちがボランティアとして本フェスティバルに参加し、前日準備から当日のプログラムの企画や運営をサポートしてくれました。彼らユース世代の活躍はメンバーにとって憧れのステキな先輩として、またサポーターにとっては次代の頼もしいリーダーとして映ったに違いありません。こどもエコクラブを通して持続可能な社会づくりを担う人材が育っていることを改めて確認することができました。

本報告書は、この全国フェスティバルの様子をまとめたものです。こどもエコクラブをご理解いただき、今後の連携・協働を進める上で、ご参考になれば幸いです。

目次

開催概要	3	表彰式	11
プログラム	4	受賞作品一覧	13
オープニングセレモニー	5	幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与	15
交流タイム～クラブPRプログラム～	5	クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定	15
エコ活セッション	6	クロージングセレモニー	16
企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！	7	子どもたちからの活動レポート	17
サポーター・コーディネーター交流会	9	サポーターからの声	17
みんなで表彰式★～賞状作り・表彰式～	10	代表クラブ一覧	18
来賓挨拶	11	広報・普及活動	19
		こどもエコクラブ支援企業・団体一覧	21

開催概要

- イベント名:「こどもエコクラブ全国フェスティバル2019 ～輝け☆全国のアースレンジャー！～」
- 実施目的:熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。

称える

活動発表や展示の機会を設け、一年間のがんばりを称え合う。

交わる

全国で活動する仲間(子ども・大人)の交わりを提供する。

知る

様々な体験学習を通じて新しい発見を得る。

広める

「こどもエコクラブ」事業への理解と参加を広く呼びかける。

- 開催日 : 2019年3月24日(日)
- 会場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)
- 主催 : 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 後援 : 環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、
独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益社団法人こども環境学会、
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 出展企業・団体:
アース製薬株式会社、アマノ株式会社、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ、
株式会社イトーキ、SGホールディングスグループ/佐川急便、株式会社エフピコ、
王子ホールディングス株式会社、株式会社ジャパンビバレッジエコロジー、
DOWAエコシステム株式会社、トヨタ自動車株式会社、
一般社団法人日本印刷産業連合会グリーンプリンティング認定事務局、
日本CCS調査株式会社、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、
文化シャッター株式会社、株式会社山田養蜂場、エコマーク事務局
- 協力 : 井筒まい泉株式会社、MSC(海洋管理協議会)、All Japan Youth Eco-club、ケニス株式会社、
日本生活協同組合連合会、株式会社丸井スズキ、株式会社ミールケア、株式会社三井住友銀行、
目白大学、リソー教育グループ、株式会社龍角散、早稲田大学学生環境NPO環境ロドリゲス
- 参加者 : 450名
 - ・都道府県代表クラブ:291名(子ども169名、大人122名)
 - ・絵日記受賞メンバー:12名(子ども6名、大人6名)
 - ・一般来場者:4名(子ども2名、大人2名)
 - ・省庁、こどもエコクラブ自治体担当者、支援企業団体等 関係者:36名
 - ・出展企業・団体担当者:55名
 - ・ユースボランティア、スタッフ:52名

○都道府県代表クラブ

代表クラブは、1年間の活動などをまとめた「壁新聞」をもとに、独創性・発展性・アピール力・地域への密着性等の観点から選ばれたクラブ。各都道府県から原則1クラブ選出。

○絵日記受賞メンバー

1年間で印象に残った活動等を描いた絵日記をもとに、選考委員会にて選ばれた優秀賞受賞メンバー

プログラム

時 間	プログラム	展 示
9:15~10:00	◆集合、受付	
10:00~10:05	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ 司会:All Japan Youth Eco-club	
10:05~10:35	◆クラブ PR プログラム 音楽が止まったところでボールを持っているクラブが 30 秒 PR をします。	
10:35~10:55	◆企業・団体の紹介 ・子どもエコクラブを応援している企業・団体を紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に関する取り組み内容の紹介	
10:55~12:20	◆エコ活セッション 壁新聞・絵日記をもとに子どもたちが日頃の活動を発表・取材しあいます。	
12:15~14:20	◆昼食 ◆企業団体の環境への取り組みを学ぼう 企業・団体ブースを回って、最新の環境への取り組みを学びます。 ◆みんなで表彰式★～賞状作り～ パートナーになったクラブに向けて、オリジナルの賞状を作成します。	
(13:30~14:15)	◆サポーター交流会	・全国から届いた壁新聞と絵日記の展示
14:20~14:35	◆集合写真撮影	
14:35~14:45	◆来賓挨拶 環境省 民間活動支援室長 佐藤 隆史 様	
14:45~15:10	◆表彰式 【壁新聞部門】 環境大臣賞:高知県香美市「香美市子どもエコクラブ みどりサイクル」 文部科学大臣賞:北海道釧路市「子どもエコクラブくしろ」 消費者庁長官賞:長崎県佐世保市「だいやエコクラブ」 日本環境協会賞:京都府京都市「京都アイキッズ」 三井住友銀行賞:栃木県真岡市「真岡児童館やさしクラブ」 エコマーク賞:兵庫県神戸市「しのっちょ・バレーヌ」 【幼児部門】ミールケア・エコまる賞: 大阪府高槻市「柱本保育園子ども未来学舎 え〜こ・レンジャー」 兵庫県神戸市「神楽子ども園 りんごキッズ」 【絵日記部門】優秀賞: 小口 龍胤さん(栃木県宇都宮市「東峰エコキッズ」) 水谷 香萌優さん(大阪府大阪市「せいわエコクラブ」) 南井 真帆さん(大阪府大阪市「せいわエコクラブ」) 近藤 克磨さん(兵庫県神戸市「玉一アクアリウム」) 【活動フォトコンテスト年間賞】 平成 30 年度子どもエコクラブ賞: 京都市京都市「西京極児童館自然探検隊2004」 平成 30 年度ケニス賞:長崎県佐世保市「だいやエコクラブ」	・活動フォトコンテスト受賞作品展示・年間賞投票 ・子どもエコクラブ応援企業・団体一覧
15:10~15:30	◆みんなで表彰式★～表彰式～ パートナークラブ同士でオリジナル賞状を交換し、一年間の活動を称えあう クロージングセレモニー ・全国フェスティバルのふりかえり ・閉会の挨拶	

オープニングセレモニー

今年の全国フェスティバルは、こどもエコクラブ OB・OG からなる「All Japan Youth Eco-club」と、現在クラブの中心になって活動している高校生メンバーとが力を合わせて司会進行を担当。これまで参加する側だったメンバーが今回は迎え入れる側となって、全国各地から集まったクラブの子どもたちを元気な笑顔で歓迎してくれました。

受付や会場誘導などにもボランティアとして多くの高校生・大学生が参加、さらにこどもエコクラブの人気キャラクター「エコまる」も駆けつけ記念写真の撮影ラッシュ！子どもたちに今日一日たくさんの仲間と楽しく交流してほしいという思いがあふれるオープニングとなりました。



交流タイム ～クラブ PR プログラム～

全国からどんなクラブが来ているのかな？どんな活動をしているのかな？全国フェスティバルのメインプログラムである「エコ活セッション」をより楽しんでもらえるよう、クラブの PR プログラムを行いました。

音楽に合わせて大きなバルーンを回し、曲が止まったところでバルーンを持っているクラブが自分たちのクラブを PR。バルーンが回ってくると大歓声があがり、自分たちのところで音楽が止まったら・・・というドキドキと、みんなの前でクラブについて伝えたい！という熱い思いが交じり合っ、ホール全体で一体感が生まれる楽しいプログラムになりました。

「こんなクラブがいるんだ！ぜひ話を聞いてみたい」というクラブが前もってチェックでき、近くに座っているクラブと手作りの名刺を交換し合うメンバーも見られました。次のプログラム「エコ活セッション」に向けて、大きな弾みがつきました。



エコ活セッション

3つのグループに分かれて、日頃行っている環境活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとにメンバーたちが発表を行い、他のクラブがそれ取材しました。みんなの発表が良く聞こえるように、まずは各グループ2クラブずつ順番に発表し、グループ内全ての発表が終わったら、グループの枠を越えて気になるクラブを自由に行き来する取材合戦を行いました。

たくさんの人にわかりやすく伝えられるよう手作りのボードを用意しているクラブや、何度も練習してきたのか大きな声でハキハキと発表するクラブ、メンバーからの質問はもちろんサポーターなど大人からの質問についても、子どもたち自らが考えてしっかりと答える頼もしいクラブもいて、日頃の熱心な活動の様子やメンバーの活発さがうかがい知れました。また、取材の時はどの子どもたちも真剣な表情で、興味をもったクラブの話の聞いたりメモをとったりしており、これからの活動のヒントもたくさん得たようです。

地域は違っても同じ分野で活動している「こどもエコクラブの仲間」として、いろいろなクラブと積極的に名刺交換や情報交換し合った子どもたち。日頃はクラブ単独で活動することが多い中、自分たちだけじゃない、全国でたくさんの仲間がいることを改めて感じ、これからも頑張ろうという意欲と元気がさらに高まっていました。

このプログラムについても、高校生・大学生などのユース世代が司会進行を行いました。子どもたちの熱心な様子にユースたちも圧倒され、自分たちも負けていけない！と大きな刺激をもらっていました。



企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！

こどもエコクラブを応援している企業・団体にブースを出展していただき、それぞれの企業・団体が取り組んでいる環境に優しい様々な取り組みについて紹介いただきました。環境対策を担当している企業・団体の方から直接話を聞いたり質問したりすることは、クラブにとって大変貴重な体験となっており、メンバーからもサポーターからも毎回大好評のプログラムです。

様々なブースの見学を通して新たな発見や学びを得て、持続可能な社会づくりに取り組んでいる社会の動きを実感した子どもたちは、それぞれのブースで学んだこと・感じたことを書きとめるとともに、「こどもエコクラブからのメッセージ」として会場に展示しました。これらのメッセージは、参加した企業・団体に届け、今後の環境に関わる活動の参考にさせていただきます。



● 企業・団体の出展内容

アース製薬株式会社

身近にいる危険な虫の種類や、主な発生場所について学ぶとともに、それらの生き物から身を守るための方法や虫よけ剤の正しい使い方について学びました。



アマノ株式会社

街で見かける駐車場の「駐車券」が、古紙で作られていたり、ベジタブルインクが使われていたりしているなど環境に配慮されていることを知りました。



公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

地域の小中学生が店舗の周りで様々なエコ活動をしている「イオンチアーズクラブ」の紹介と、買い物のエコに役立つエコバッグ作りにもチャレンジしました。



株式会社イトーキ

森や動物を守るために適切に管理された木からできた商品につく「FSC認証」の仕組みについて学びました。「FSC認証」のついた椅子にも座ることができました。



SGホールディングスグループ/佐川急便

荷物の配達に関するエコとして「環境に優しいトラック」、「エコユニフォーム」の紹介に加え、「森を元気にする活動」について学びました。



株式会社エフピコ

使用済み食品トレーをトレーにリサイクルする技術や再生原料を使った「エコトレー」について学び、リサイクルの大切さを実感しました。



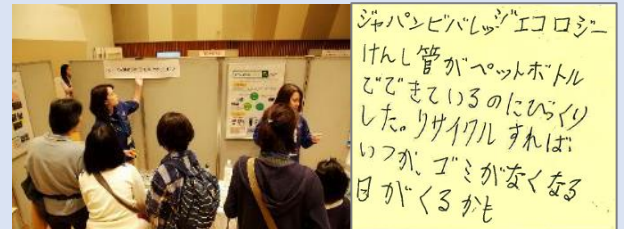
王子ホールディングス株式会社

紙の原料となるパルプに実際に触れながら、森を守り、育てる活動について考えました。プラスチックごみ問題や地球温暖化防止への取組についても学びました。



株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

アルミ缶やペットボトルなどのリサイクルの工程を学び、リサイクルの大切さと普段からのごみの分別の重要性を実感しました。



DOWA エコシステム株式会社

携帯電話やゲーム機などの身近な電気製品に、様々な金属が使われていること、それを集めるとリサイクルできることを発見しました。



トヨタ自動車株式会社

車が走る時、車を作る時のCO₂を減らすための工夫や、工場での節水、車のリサイクルなど2050年までの取組について、クイズで楽しく考えました。



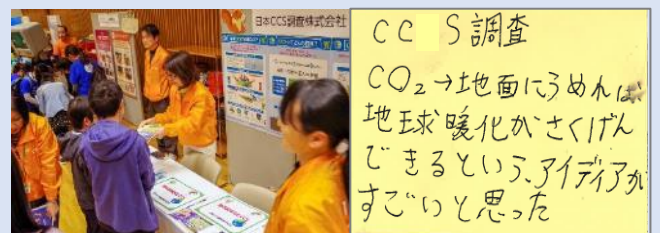
一般社団法人日本印刷産業連合会 グリーンプリンティング認定事務局

カラー印刷の仕組みや、破れない紙を使った印刷、エコな印刷工場などについて体験を通して学びました。



日本CCS調査株式会社

地球温暖化の対策として、工場などから排出される二酸化炭素を地中に封じ込める技術について教えてもらいました。



公益財団法人
日本容器包装リサイクル協会

ペットボトルやプラスチック製容器包装のリサイクル工程や、どのようにリサイクルされているのかについて動画や展示物を見ながら考えました。



文化シヤッター株式会社

間伐材などの廃木材と、ペットボトルのキャップなどのプラスチック廃棄物を原料にした建築素材があること、その素材を使った様々な製品があることを知りました。



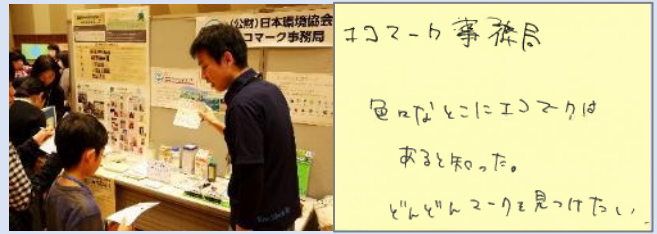
株式会社山田養蜂場

ミツバチが人間も含めてたくさんの生き物をつないでいることを学びました。花の種類によって蜂蜜の味が違うことも発見しました。



エコマーク事務局

暮らしの中で身近にあるエコマーク商品を実際に手に取り、どんなところが環境にやさしいのか考えました。レストランなどにもエコマークがつくあることを知りました。



サポーター・コーディネーター交流会

子どもたちの交流に負けじと、メンバーを支えるサポーター・コーディネーターが集まって交流会を行いました。「サポーターの役割とこどもエコクラブの未来」というテーマのもと、グループに分かれて、それぞれの立場で今後クラブの活動をさらに活性化する方法や、地域の団体と連携して活動を広げていくためのアイデアなどを出し合っていました。

この交流会でのグループワークの進行も、「All Japan Youth Eco-club」や現在活動している高校生メンバーが担当、大人たちの意見を聞いて議事録をつくったり、グループの意見をまとめて発表したりと、大活躍でした。

また、全国でも特に活発に活動しているサポーターと元コーディネーターの方が全体のファシリテートを担当してくれ、参加者もファシリテーターも、そしてユースも「こどもエコクラブを私たちみんなですらにより良い形にしていきたい」という思いがあふれる温かい会となりました。

参加者からの「サポーター自身が人と人とのつながりを大切に、人とのネットワークを幅広く持ちたい」という意見の通り、今回の交流会をきっかけに、こどもエコクラブに関わるサポーターやコーディネーターがつながりあって、それぞれの地域でより一層活動を発展してもらえることを期待しています。



みんなで表彰式★ ～賞状作り～

「エコ活セッション！」で取材しあったパートナークラブ同士で、お互いにこれまでの活動を称えあう「みんなで表彰式★」のための賞状づくりを行いました。取材内容をもとにパートナークラブの良かったところ、特長があるなと思ったところ、頑張ってるな！と感じた点を見つけ合い、パートナークラブへの思いを込めて、世界でたった1枚の表彰状をメンバーみんなで相談して作りあげました。

賞の名前を決めるのがとても大変だけど、一番の工夫のしどころでもあります。どんな名前にするのかをじっくり話し合っ、どのクラブもステキな賞の名前を考えました。かわいいイラスト付きの賞状をつくれたクラブも！きっと喜んでもらえますね♪



みんなで表彰式★ ～表彰式～

賞状が完成したら、できあがった賞状をお互いに授与し合う「表彰式」です。心を込めて賞状を読みあげ、賞名を決めた理由を発表しあって握手！お互いに称えあう拍手をして、会場みんなに見えるように賞状を掲げました。

クラブの仲間同士で称え合うことで、こどもエコクラブとしての連帯感が生まれました。どのクラブも満足そうで満面の笑み。これからの活動も頑張ろうという意欲が高まりました。



来賓挨拶

こどもエコクラブの活動を応援している環境省から、民間活動支援室長の佐藤様にお越しいただき、環境省としてこどもエコクラブの活動に大いに期待していること、さらに活動が活性化してみんなが楽しく活動できるよう、これからはバックアップしていきたいなど心強い応援のメッセージをいただきました。

佐藤室長は平成7年度のこどもエコクラブ立ち上げにも関わっておられ、元気に活動している子どもたちや、次代のリーダーとして育てているユースメンバーの様子に感激されていました。



表彰式

1年間の活動についてまとめた壁新聞や、1年間の活動で印象に残った活動・みんなに伝えたい活動を描いた絵日記をもとに、地域の特性をいかした活動や子どもたちの自由な発想で元気に活動を行っているクラブ・メンバーに対して、環境大臣賞をはじめとする各賞が贈られました。

なお、今年度新設した映像部門については、応募作品をオープニング前に上映して紹介いたしました。



壁新聞部門 環境大臣賞：香美市こどもエコクラブ みどりサイクル

壁新聞部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
環境大臣賞	香美市こどもエコクラブ みどりサイクル(高知県香美市)
文部科学大臣賞	こどもエコクラブくしろ(北海道釧路市)
消費者庁長官賞	だいやエコクラブ(長崎県佐世保市)
日本環境協会賞	京都アイキッズ(京都府京都市)
三井住友銀行賞	真岡児童館やさしクラブ(栃木県宇都宮市)
エコマーク賞	しのっちょ・バレエヌ(兵庫県神戸市)



文部科学大臣賞：こどもエコクラブくしろ



消費者庁長官賞：だいやエコクラブ



日本環境協会賞：京都アイキッズ



三井住友銀行賞：真岡児童館やさしクラブ



エコマーク賞：しのっちょ・バレエヌ



絵日記部門 受賞メンバー

賞名	クラブ名	名前
優秀賞	東峰エコキッズ(栃木県宇都宮市)	小口 龍胤さん
優秀賞	せいわエコクラブ(大阪府大阪市)	水谷 香萌優さん
優秀賞	せいわエコクラブ(大阪府大阪市)	南井 真帆さん
優秀賞	玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)	近藤 克磨さん



小口 龍胤さん



水谷 香萌優さん



南井 真帆さん



近藤 克磨さん



壁新聞



◆環境大臣賞
香美市子どもエコクラブ みどりサイクル
(高知県香美市)
「世界一楽しいのはエコクラブ」



◆文部科学大臣賞
子どもエコクラブくしろ
(北海道釧路市)
「エコ通信 釧路湿原から 2018」



◆消費者庁長官賞
だいやエコクラブ
(長崎県佐世保市)
「子どもツリズム・エコ株式会社設立 2018
~エコ主を増やすっちゃん大作戦~」



◆日本環境協会賞
京都アイキッズ
(京都府京都市)
「「水・食・命のつながり」を人から学ぶ」



◆三井住友銀行賞
真岡児童館やさしくラブ
(栃木県宇都宮市)
「私たちの学びの場 in いそやま」



◆エコマーク賞
しのっちょ・バレエヌ
(兵庫県神戸市)
「考えてみよう リサイクル」

絵日記



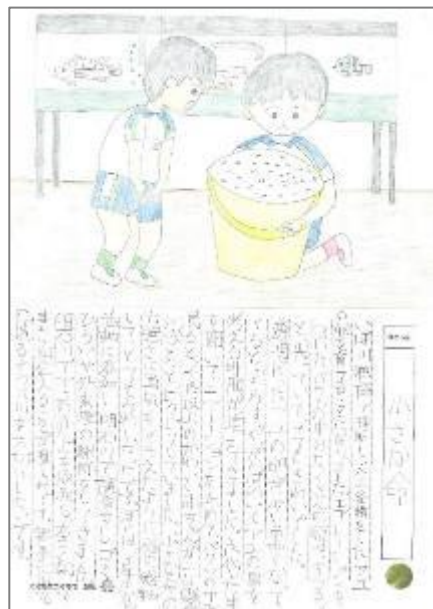
◆優秀賞
小口 龍胤さん
東峰エコキッズ (栃木県宇都宮市)
「こぐちけのエコせいかつ」



◆優秀賞
水谷 香萌優さん
せいわエコクラブ (大阪府大阪市)
「しめなわ」



◆優秀賞
南井 真帆さん
せいわエコクラブ (大阪府大阪市)
「エコで安心 ペットボトルライフジャケット」



◆優秀賞
近藤 克磨さん
玉一アクアリウム (兵庫県神戸市)
「小さな命」

● 幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与

全国フェスティバルへの参加が難しい、保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには、別途審査を行い、上位2クラブに株式会社ミールケアのご提供により「ミールケア・エコまる賞」を贈呈しました。

受賞クラブには、クラブの活動場所に「エコまる」が出向いて、表彰状の授与とメンバーと楽しい体験プログラム「エコまるのエコ教室」を行います。3月に1園で実施済、もう1園は2019年5月に実施予定です。



柱本保育園 ども未来学舎え〜こ・レンジャー
(大阪府高槻市)
「ほしぐみ え〜こレンジャー新聞」

神楽ども園 りんごキッズ
(兵庫県神戸市)
「エコしんぶん」

神楽ども園 りんごキッズでの
表彰の様子
(2019. 3. 28)

当日は大阪の All Japan Youth Ecoclub
のユースがサポートしてくれました。

● クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定 (協力:ケニス株式会社、株式会社共立理化学研究所)

どもエコクラブの元気な活動の様子や子どもたちの環境への思いをたくさんの人に知ってもらい、エコの環を広げることを目的に行っている『クラブ活動フォトコンテスト』の平成30年度 第1期〜第3期の入賞作品すべてを展示し、全国フェスティバルの参加者全員の投票によって年間賞を決定しました。



■平成30年度どもエコクラブ賞
西京極児童館自然探検隊2004 (京都府京都市)
「エコクラブキャンプ」

■平成30年度ケニス賞
だいやエコクラブ (長崎県佐世保市)
「西海国立公園巡り【17】白浜海水浴場見学
(清掃活動及びビーチコーミング)」

クロージングセレモニー

最後にみんなで全国の仲間たちとの交流や活動発表、企業・団体ブースの見学で「わかったこと」「学んだこと」などを振り返りました。

メンバーからどんどんと手が上がり、「全国の仲間がいろいろな活動していることがわかった。自分たちも頑張っていこうと思った。」「企業や団体の人たちがわかりやすく説明してくれてとても勉強になった」などの発言がありました。

最後に、今日一日司会進行を担ってくれたユースたちから『輝け！全国のアースレンジャー！！』のかけ声とともに、「これからも元気にエコ活動を続けていこう！」と誓い合って、「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2019～輝け☆全国のアースレンジャー～」を閉幕しました。

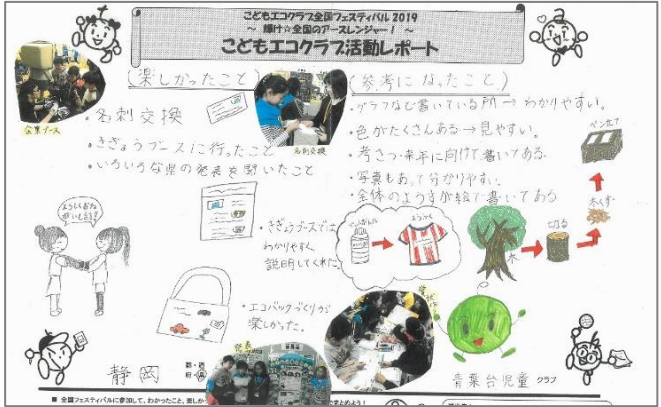


● みんなで集まって集合写真



子どもたちからの活動レポート

全国フェスティバル終了後、地域に帰ったそれぞれのクラブから、全国フェスティバルで感じたこと、わかったこと、多くの仲間に伝えたいことなどを満載した活動レポートが届きました。クラブからのレポートは、参加できなかった全国の仲間や関係者、その他多くの皆さんに発信するため、子どもエコクラブウェブサイトでも紹介いたします。



◎ サポーターの声(一部抜粋)

- ・ 楽しく参加することができました。発表が展示だけでなく言葉で伝えあう発表時間もあり、よりいろいろなことを知り得ることができました。
- ・ メンバー同士もサポーター同士もパートナークラブと仲良くなれて、とても有意義なフェスティバルでした。
- ・ 全国各地で環境について考え行動を起こしている方々と話ができ、自分たちにももっとできることがあると感じました。他クラブの活動報告がメンバーの良い刺激になったと思います。これからやってみたくが増えました。
- ・ 最初は緊張していたメンバーも、同じ志、興味を持つ分野が同じ友達ができてとても楽しい時間を過ごせたようです。
- ・ たくさんのクラブの報告が聞けたり、名刺交換でいろいろな地域の人と交流ができて勉強になりました。
- ・ 企業ブースではいろいろな体験ができて楽しかったです。話も上手で丁寧に説明してくれ、とてもわかりやすく楽しかったです。
- ・ 先輩の学生たちが進行やサポートを一生懸命やってくれて、良かったと思います。役割分担して皆さん活躍していました。温かいスムーズな進行で、まさに子どもたちの全国フェスでした。



参加クラブ一覧

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
北海道	釧路市	こどもエコクラブくしろ	エコ通信 釧路湿原から 2018
青森県	弘前市	HEP21 エコクラブ	わたしたちとだんぶり池の仲間たち
青森県	青森市	おおぼし保育園エコフレンド (*)	エコ活動 わたしたちがやっていること
秋田県	秋田市	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	秋田の資源とエネルギー
茨城県	大子町	八溝自然たんけんたい	サシバのすめる里やまづくり
栃木県	真岡市	真岡児童館やさしクラブ	私たちの学びの場 in いそやま
群馬県	太田市	スター☆クラブ	スター☆クラブ新聞
埼玉県	宮代町	MIYASHIRO エコ☆スターズ	地球を守るため新聞
千葉県	市川市	かいさん ず	かいさんず新聞 2018
千葉県	市川市	ななちゃんズ (*)	わくわくいっぱい ななちゃんズ新聞
東京都	墨田区	にこにこエコクラブ	にこにこエコクラブ新聞
神奈川県	藤沢市	大鋸児童館こどもエコクラブ	藤沢エコまる Times
新潟県	魚沼市	三ツ星エコクラブ	三ツ星エコ新聞
福井県	越前市	坂口エコメイト	ふるさとの自然を守ろう～里山警備隊～
山梨県	甲府市	和泉エコクラブ	和泉ワクワクエコ新聞
長野県	松本市	いきものみつけファーム in 松本推進協議会	菌新聞～生き物のつながり～
岐阜県	山県市	とみおか2年1組	まもれ！ふるさとのヒダサンショウウオ
静岡県	富士市	青葉台児童クラブ	富士山の森を知ろう～丸火の森を探検したよ～
愛知県	半田市	半田こどもエコクラブ	平成最後のエコクラブ新聞
三重県	四日市市	四日市尾平イオンチアーズクラブ	伊勢湾流域 ゴミ&リサイクル
滋賀県	大津市	しが kids エコクラブ	わに公園の池をきれいにしたい
京都府	京都市	京都アイキッズ	「水・食・命のつながり」を人から学ぶ
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ	水源の森を守るぞ
兵庫県	神戸市	しのっちょ・バレーヌ	考えてみよう リサイクル
鳥取県	米子市	日吉津イオンチアーズクラブ	地球のしげんは大切に ～自然の力をかしく使おう！～
島根県	出雲市	上津探検隊	ケロケロカエル調査新聞XII
岡山県	倉敷市	倉敷イオンチアーズクラブ マスカット隊「チームグリーン」	守ろう地球 つくろう未来 新聞
広島県	広島市	広島祇園イオンチアーズクラブ よつば隊	よつば隊1年間の活動記録
香川県	高松市	シオン・エコサイエンスクラブ	E C O 讃岐 C O 2 濃度の測定から私たちができること
高知県	香美市	香美市こどもエコクラブ みどりサイクル	世界一楽しいのはエコクラブ
福岡県	筑紫野市	エコまめクラブ	ツバキから見た生物のつながり
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	こどもツーリズム・エコ会社設立 2018 ～エコ主を増やすっちゃん大作戦～
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ (広安西小学校環境委員会)	益城のよさをみつめよう～広西湧き水再生プロジェクト～
鹿児島県	鹿児島市	色響 (IROHIBIKI)	「海からの便り」を音にのせて
沖縄県	那覇市	はなぞの児童クラブ はなぞのエコクラブ	水のぼうけん

(*) これまで全国フェスティバルに参加経験のない次点クラブにも呼びかけ、参加いただきました。

広報・普及活動

多くの方々に全国フェスティバルの周知を図るため、さまざまな手法を用いて広報活動を行いました。

- ・子どもエコクラブホームページ、SNS、メーリングリスト等にて、全国の登録クラブ及び地方自治体等へ発信。
- ・公益財団法人日本環境協会 プレスリリース
- ・環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁の記者クラブへのリリース
- ・地方自治体、環境関連施設、環境団体等へのリリース
- ・子どもエコクラブ パートナー企業・団体へのリリース など

都道府県代表のクラブの紹介等、全国フェスティバルに関連する情報は、メディアや各地方自治体、パートナー企業・団体、環境関連施設、環境団体、教育委員会等によって、様々な媒体において掲載されました。

◆地方自治体(一部抜粋)

大阪府 (2019.3.8)

報道発表資料
ホーム > 報道発表資料 > 詳細

大阪府内の子どもエコクラブが作成した壁新聞・絵日記の受賞が決まりました。
全国受賞12作品のうち大阪府内から3作品が受賞しました。

代表連絡先
環境農林水産部 エネルギー政策課
環境活動推進グループ
ダイヤルイン番号: 06-6210-9549
メールアドレス: enesaisaku-02@gbox.pref.osaka.lg.jp

提供日 2019年3月8日
提供時間 14時0分

大阪府では、子どもたちの発見的な環境保全活動を促すために、子どもエコクラブ地域事務局として、府内の子どもエコクラブ(※1)の活動を推進しています。このたびは、子どもエコクラブ全国事務局が実施する2019年度子どもエコクラブ「全国エコ活コンクール」(※2)において、157校の壁新聞、240枚の絵日記の応募がある中、府内から、以下の作品が入賞しました。
なお、子どもエコクラブ全国フェスティバル2019にて表彰状の授与が行われます。

大阪府 (2019.3.8)

長崎県 (2019.3.29)

「だいやエコクラブ」が消費者庁長官賞受賞！

2019年3月29日更新

佐世保市の子どもエコクラブ「だいやエコクラブ」が、全国エコ活コンクールの壁新聞部門において、消費者庁長官賞を受賞され、平成31年3月24日(日)に開催された「子どもエコクラブ全国フェスティバル」において、表彰を受けられました。

受賞作品

長崎県 (2019.3.29)

秋田県 (2019.3.29)

子どもエコクラブ全国フェスティバル2019特集

★全国フェスティバルの様子

子どもエコクラブ全国フェスティバル2019は、各都道府県から参加した子どもエコクラブの代表者が一堂に集い、交流や発表の場を設け、各都道府県の子どもエコクラブの活動を紹介しました。また、各都道府県の子どもエコクラブの代表者が一堂に集い、交流や発表の場を設け、各都道府県の子どもエコクラブの活動を紹介しました。

秋田県 (2019.3.29)

新潟県 (2019.3.25)

ストップ温暖化センターとちぎ 栃木県地球温暖化防止活動推進センター

「全国エコ活コンクール」表彰が行われました！

2019.03.25

子どもエコクラブ全国フェスティバル(国立オリンピック記念青少年総合センター)の中で、「全国エコ活コンクール」の表彰が行われ、壁新聞部門「三井住友銀行賞」「私たちの学びの場へそま」賞状を授与されました。また、絵日記部門「おもしろいエコ活」賞状を授与されました。

栃木県 (2019.3.25)

金沢市 (2019.1月)

子どもエコクラブ活動の推進

子どもエコクラブ専業主婦は、21世紀を担う子どもたちが主体的に行う環境保全活動及び環境学習を支援するとして、人間と自然の関わりについて幅広い理解を深め、自らを大切にする心や環境意識を身に付ける能力を育成することが目的です。金沢市においても、自然観察会を充実するなど、エコクラブ活動の支援を行っています。

子どもエコクラブしるし、1年間の活動をまとめた壁新聞を作成しました！

2018年度は、子どもエコクラブの活動の成果をまとめた壁新聞を作成しました。壁新聞は、子どもエコクラブの活動の成果をまとめた壁新聞を作成しました。

金沢市 (2019.1月)

神戸市 (2019.3.18)

平成年度子どもエコクラブ「全国エコ活コンクール」の受賞について

平成年度子どもエコクラブ「全国エコ活コンクール」の受賞について

神戸市では、子どもたちが地域で行う環境学習や環境保全活動を支援する全面的な取り組み「子どもエコクラブ」について、「KOBEC子どもエコクラブ」事業として活動を実施し、クラブの相互交流を図る活動を実施しています。

◆子どもエコクラブ「全国エコ活コンクール」受賞クラブ及び受賞者◆

壁新聞部門
◎エコマーク賞:「電えてみよう リサイクル」しゅのっちゃん・バレエ
◎給食部門:ミルキータン「電えてみよう」リサイクル しゅのっちゃん・バレエ
◎給食部門:ミルキータン「電えてみよう」リサイクル しゅのっちゃん・バレエ
◎給食部門:ミルキータン「電えてみよう」リサイクル しゅのっちゃん・バレエ

神戸市 (2019.3.18)



◆企業・団体等(一部抜粋)

環境展望台

国内ニュース

日本環境協会、子どもエコクラブ「全国エコ活コンクール」の受賞者を決定

発表日：2019.02.21

(公財)日本環境協会は、子どもエコクラブ「全国エコ活コンクール」の受賞者を決定したと発表した。同協会では、全国各地の子どもの環境活動を支援する「子どもエコクラブ事業」を行っている。同コンクールは、子どもたちが日頃の環境保全活動(エコ活動)をまとめた壁新聞や絵日記を全国から募集し、優れた作品を表彰することにより、環境活動の輪を広げ、充実・発展を促進するもの。今回、応募があった壁新聞157枚、絵日記240枚および新たに設置した映像部門の作品の中から、審査の結果、環境大臣賞、文部科学大臣賞、消費者庁長官賞などの受賞者及び「子どもエコクラブ全国フェスティバル2019」の都道府県代表クラブを決定した。同協会では、2019年3月24日に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で開催される「全国フェスティバル」で表彰式を行いという。



国立環境研究所ニュース「環境展望台」(2019.3.18)

2019年4月3日

「子どもエコクラブ全国フェスティバル 2019」にて、『虫ケア用品』の正しい使い方を啓発
～感染症を媒介する「マダニ」「蚊」などの標本を展示しました～

アース製薬は、2019年3月24日(日)国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で開催された子どもエコクラブ全国フェスティバル 2019(主催:公益財団法人日本環境協会、後援:環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁)に参加し、『感染症を媒介する危険な虫』や『虫よけ剤の正しい使い方』をテーマに、ブースを出展しました。

アース製薬株式会社
(2019.4.3)

DOWA エコシステム

「子どもエコクラブ全国フェスティバル2019」に出展しました

2019年3月24日、DOWAエコシステムは、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「子どもエコクラブ全国フェスティバル2019」(主催:公益財団法人日本環境協会)に出展しました。

子どもエコクラブは、(国)から高校まで幅広い年齢層で環境活動のクラブで、環境が壊れ、(公)財は環境破壊の被害を受けています。DOWAエコシステムは、新製品開発クラブの子供たちが一歩一歩に実践するイベントで、今年も400名を超える参加者がありました。

当社のブースでは、早稲田大学の学生ボランティアとともに「スマートフォン観察ショー」を行い、たくさんの子供たちが興味を持って参加しました。

当社は今後も、多くの市民・ひとりの力で環境を良くしていく。また当社の環境・リサイクル事業についても知っていただけるように、コミュニケーションの機会を大切にしています。

DOWA エコシステム株式会社
(2019.3.25)

◆メディア(一部抜粋)

2019年(平成31年)3月8日(金曜日)

エコ活コンクール
2019年度子どもエコクラブ(全国)の受賞者発表

環境活動に取り組む全国の子どもエコクラブから、エコ活コンクールで発表された本県からは、2部門で入賞した。小口麗光君の絵日記は、こどもエコクラブの活動を紹介する壁新聞として、環境活動の輪を広げ、充実・発展を促進するもの。今回、応募があった壁新聞157枚、絵日記240枚および新たに設置した映像部門の作品の中から、審査の結果、環境大臣賞、文部科学大臣賞、消費者庁長官賞などの受賞者及び「子どもエコクラブ全国フェスティバル2019」の都道府県代表クラブを決定した。同協会では、2019年3月24日に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で開催される「全国フェスティバル」で表彰式を行いという。

下野新聞(2019.3.8)

高知の天気(もっと詳しく)

高知新聞 The Kochi Shimbun

2019年04月15日(月) 現在 6時前後

高知のニュース 国内・国際 特集・連載 イベント 医療・健康

新着 主要 社会 政治・経済 訃報 社説 文化・芸能 教育 環境・科学 スポーツ

ホーム » 高知のニュース » 主要

2019.04.15 08:33

香美市エコ壁新聞 全国一 舟入小5年の2人 活動紹介


「香美市子どもエコクラブ」メンバーで、舟入小5年の岩村玲奈さん(10)と西村百加さん(10)が作った壁新聞がこのほど、「全国エコ活コンクール」で最高賞の環境大臣賞に輝いた。クラブで取り組んだ32の活動を紹介し、幅広い活動や専門家を交えた学びの深さが評価された。...

環境大臣賞に輝いた壁新聞の発表をする岩村玲奈さん=左=と西村百加さん(香美市役所)

高知新聞(2019.4.15)

こどもエコクラブ支援企業・団体一覧

こどもエコクラブは、多くの企業・団体の支援により活動しております。



アサヒグループホールディングス	アース製薬	アマノ
アライアンス	イオン1%クラブ	市流
イトーキ	エコ・ファースト推進協議会	SGホールディングスグループ/ 佐川急便
エフピコ	ELEHOUSE (エレハウス)	塩ビ工業・環境協会
王子ホールディングス	緒方不動産鑑定事務所	岡山東法人会
オフィス・エヌ	オリンパス	共立駐車場工事
共立理化学研究所	きらぼし銀行	キリン
ケニス	JTB	シミズオクト
清水建設	ジャパンビバレッジグループ	昭和シェル石油
住商フーズ	3R活動推進フォーラム	世界貿易センタービルディング
積水化学工業	全労済	高杉製薬
高光産業	タカラトミー	脱炭素化支援
坪井工業	TSIホールディングス	鉄建建設
電通	東京国際フォーラム	東京建物
東洋ライス	東レ	DOWAエコシステム
トヨタ自動車	西久大運輸倉庫	西日本ビル代行
日本印刷産業連合会・ グリーンプリンティング認定事務局	日本CCS調査	日本容器包装リサイクル協会
長谷工コーポレーション	林事務所	バンダイナムコホールディングス
フジメンテニール	ブリヂストン	プロントコーポレーション
文化シヤッター	マツモトキヨシホールディングス	ミールケア
三井化学	三井住友海上火災保険	三井住友銀行
三井不動産	三菱地所	三菱地所設計
三菱地所ホーム	三菱地所リアルエステートサービス	三菱地所リテールマネジメント
三菱地所レジデンス	三菱電機	ミヨ・コーポレーション
山田養蜂場	ライオン	リード
リソー教育グループ	龍角散	ワイス・ワイス

(五十音順・2019年3月現在)



■ 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階
TEL 03-5829-6359 FAX 03-5829-6190
こどもエコクラブウェブサイト <http://www.j-ecoclub.jp/>